大阪府立大学の平成２８年度決算の概要と

積立金の第３期中期目標期間への繰越について　(案)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：百万円）

|  |  |
| --- | --- |
| **１．平成２８年度の決算の概要**   |  | | --- | | 臨時損失　４７百万円の内訳  　・固定資産除却損　　４７  臨時利益　７４百万円の内訳  　・運営費交付金収益　２５（退職給付債務）  　・その他臨時利益　　４９ |   ○経常費用　　　　１９，８８０  ○経常収益　　　　１９，９６２  ◎経常利益　　　　　　　　８１  　(＝経常収益－経常費用)  ○臨時損失　　　　　　　　４７  ○臨時利益　　　　　　　　７４  ◎当期純利益　　　　　　１０８  　(＝経常利益＋臨時利益－臨時損失)  ○目的積立金取崩　　　　　７０  ◎当期総利益　　　　　　１７８ |

|  |
| --- |
| **２．平成２８年度における大学の経営努力　　　１７８百万円の内訳**  　（経費の削減）外部研究資金の間接経費の充当による既存経費の縮減によるもの  ※学生在籍者の充足率については、大学の学域・学部及び研究科並びに工業高等専門学校ともに  90%を上回っている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| |  | | --- | | 積立金残高　　　　２２３百万円の積算  　前年度からの繰越額　　４５  　当期総利益　　　　　１７８  目的積立金振替　　６３０百万円の積算　★  　前年度からの繰越額　　７３５  　当期取崩し分　　　　　１０５  　　　資産取得　　　　　　３５  　　　費用計上　　　　　　７０ |   **３．第２期中期目標期間終了時の積立金（利益剰余金）の内容**  ○積立金　　　　　　　　　　　２２３  ○目的積立金　　　　　　　　　６３０  ○前中期目標期間繰越積立金　　１５１  ◎積立金総額　　　　　　　１，００４  （現金の裏付けのない積立金　　　５５）※  ★中期目標期間終了時の清算のため、目的積立金も積立金に振替  　※リース契約等によるもの |

資料２－１

|  |
| --- |
| **４．地方独立行政法人法第４０条第４項により承認を受けようとする額**  **＝　次期中期目標期間への繰越額　　９７９百万円　＜大学案＞**  　　　　　◎積立金総額　　　　　　　　１，００４  　　　　　　・大阪府への返納額　　　　　　　２５　（運営費交付金収益（退職給付債務））  ○次期中期目標期間への繰越額　　９７９  ・現金の裏付けのない積立金　　　５５※（前中期目標期間繰越積立金振替分）  （会計処理上生じた利益のため、次期中期目標期間へ繰り越す必要があるもの）  　　　　　　・現金の残っている積立金　　　９２４  （経営努力相当額で次期中期目標達成に必要な経費） |

|  |
| --- |
| **５．次期中期目標期間に９２４百万円を繰越す理由＜大学案＞**  　【繰越理由】事業継続～重点戦略目標への対応～  　　第３期中期計画で掲げる重点目標「社会で活躍する応用力・実践力を備えた高度人材の育成」  「大阪からのイノベーションに繋がる研究の推進」「グローバル展開に向けた環境の整備」の達  成に向けた取組を推進する。  　　（事業経費）  　　　・学域の志願者数減少を改善し、入学検定料等の学生納付金の増加を推進するため、重点的に入試広報を行うとともに、インターネット出願等により志願者の利便性向上を図る。  　〔所要額170百万円〕  　　　・本学学生の海外派遣において中期計画人数（300名以上）を達成するため、海外派遣プログ  ラムへの支援及び派遣プログラムの開発を推進する。　〔所要額140百万円〕  ＜つばさ基金「海外留学生支援事業」、後援会「国際交流事業」＞  　　　・高額な研究機器等の有効活用（共同利用や学外利用など）を促進するとともに、老朽化している研究・実験機器等を計画的に更新・改修を行うことで、良好な教育研究環境の整備・充実を図る。　〔所要額440百万円〕  ◇大型研究機器のリース、共同利用機器の更新  ◇新設した現代システム科学専攻の教育環境（学生の実験・実習機器等）の整備  ◇総合図書館（地下２階）電動集密書架の改修  ◇施設整備及び保全（防水・外壁改修等）や省エネルギー（外灯LED化等）への取組  ・教育研究に必要不可欠な学術雑誌や論文等を収納した電子ジャーナル等について、世界的な  価格高騰に対応し、タイトル数の維持継続することで、教育研究環境の整備を推進する。  〔所要額200百万円〕 |